

平成26年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,794	4,842	48	(注1)
施設整備費補助金	1,429	1,429	-	
補助金等収入	269	545	276	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	25	25	-	
自己収入	3,491	3,505	14	
授業料、入学料及び検定料収入	3,311	3,292	△19	(注3)
雑収入	180	213	33	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,427	1,582	155	(注5)
長期借入金収入	-	-	-	
計	11,436	11,929	493	
支出				
業務費	8,286	8,082	△204	
教育研究経費	8,286	8,082	△204	(注6)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	1,454	1,454	-	
補助金等	269	545	276	(注7)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,427	1,461	34	(注8)
長期借入金償還金	-	-	-	
計	11,436	11,542	106	
収入－支出	-	387	387	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国立大学法人の行う海外からの教育研究ユニット招致事業等に伴う特別運営費交付金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が48百万円多額となっています。

(注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたため、予算額に比して決算額が276百万円多額となっています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、学生在籍者見込数の減等により、予算額に比して決算金額が19百万円少額となっています。

(注4) 雑収入については、主として特許権収入の増収等により、決算額が33百万円多額となっています。

(注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、決算額に前年度からの繰越金163百万円を含めて計上していることが主たる要因となり、予算額に比して決算額が155百万円多額となっています。

(注6) 業務費については、主として退職手当及び学内プロジェクト事業の翌年度への繰越等により、予算額に比して決算額が204百万円少額となっています。

(注7) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が276百万円多額となっています。

(注8) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が34百万円多額となっています。